

システム情報工学研究科修士論文概要

年 度	平成 26 年度	学位名	修士(工学)
専 攻	知能機能システム専攻	専攻	著者氏名 田中 花央理
指導教員氏名 横井 一仁			
論文題目 アンドロイドロボットの外見と同調動作が人の心理に及ぼす影響の評価			
論文概要 <p>アンドロイドの同調操作時、他者がアンドロイドに接近すると操作者自身に違和感が生じる現象について、アンドロイドの人に似た外観から喚起される共感や同調動作から喚起される運動主体感により、操作者のパーソナル・スペースがアンドロイドに拡張すると仮定した。このように、アンドロイドロボットの外観と同調操作が人の心理に及ぼす影響を調べるため、操作者が同調操作したロボットに実験者が近づく実験を行った。</p> <p>実験 1 では、アンドロイドへの接近時の操作者のパーソナル・スペースの拡張現象が、操作者とのくらい酷似していることが必要かを示すために、男性／女性の被験者が同性／異性アンドロイドを同調操作した後、女性実験者がアンドロイドに接近した時の操作者の SCR 値・アンケート結果を各条件で比較した。その結果、女性の場合、同調動作による運動主体感のみでは身体拡張は起きず、同性つまりより外観が自分に近いことが身体拡張に必要であると考えられた。男性の場合、同性、異性のどちらについても、同調していれば運動主体感が強まり、身体拡張が起き、同性でかつ同調していることが恥ずかしさという共感を得るのに必要と考えられた。</p> <p>実験 2 では、アンドロイドへの接近時の操作者のパーソナル・スペースの拡張現象が、同調的な動きがあれば、ロボットの外観の類似度は低くても起きるのかを示すために、男性の被験者が人型／非人型ロボットを同調操作後、女性実験者が接近した時の操作者の生理指標・アンケートを各条件で比較した。同調動作による運動主体感のみでは身体拡張は起きず、人型(同性)であることが必要であり、人型(同性)でかつ同調していることが、緊張するという共感を得るために必要であると考えられた。</p> <p>以上の実験 1 と実験 2 の結果から、女性の SCR 値は同性同調操作時に有意に上昇したが、アンケート結果よりこれは身体拡張に起因していることが示唆された。一方、男性の SCR 値は人型(同性)同調操作時に上昇したが、アンケート結果より、これは身体拡張とパーソナル・スペースの拡張の両者に起因していることが、示唆された。</p>			
審査日 平成 27 年 1 月 29 日			
審査員	(大学名 職名)	(学位)	(氏名)
主査	筑波大学 教授(連携大学院)	博士(工学)	横井 一仁
副査	筑波大学 教授	博士(工学)	葛岡 英明
副査	筑波大学 教授	博士(工学)	中内 靖